

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2374700256
事業所名	中央グループホーム和

【重点項目への取組状況】

重点項目 ①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	ホームは建物3階にあり、日常的に地域住民が訪れるにはハンデとなっている。それを補うべく、利用者がホームから外に出ることによって、地域との交流を図っている。 これまで通り、地域の盆踊りや清掃活動には積極的に参加しており、民生委員から誘いのあった「いきいきサロン」にも参加するようになった。	○
重点項目 ②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	毎偶数月に運営推進会議を開き、年間6回の開催である。 これまでは運営推進会議に参加のなかった地域の区長が、新年度の役員交代によって参加するようになった。区長が都合によって参加できない場合には、区長代理の出席がある。 民生委員をはじめ参加メンバーからは有効な情報提供がある。	○
重点項目 ③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	市役所とホームは目と鼻の先にあり、懸案事項があれば直ぐに訪問して話をするができる。介護保険に関わらず、生活保護受給者が入居することから、市の生活保護の担当部署とも連携を図っている。 運営推進会議には、市・長寿介護課の職員や地域包括支援センターの職員が行政枠で参加している。	○
重点項目 ④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	家族のホーム訪問は多く、その機会に職員が家族の意見や要望を聞き取り、可能な限りホーム運営に反映させている。 朝食時に意識を失った利用者の救急搬送・入院について、家族とのやり取りを管理者が運営推進会議で報告し、緊急時の家族との連携の大変さを会議に参加したメンバー一同が共有することとなった。	○
重点項目 ⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域とのつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎